

No.

2023 年度 地歴公民科 年間学習計画表

山形県立長井高等学校

科目	教養地理	単位数	2	週時間数	4	年次・コース・組	3年一般文系(後期のみ開講)
使用教科書 副教材等	独自教材						

① 学習の到達目標

○地理的なものの見方や考え方をを用いて、自分なりの問いを見つけ、その問いに対する考えを表現する。

② 評価の観点、方法

○関心・意欲・態度 地理的事項に対して、授業だけでなく日常生活においても、関心と課題意識を持つことができる。

○思考・判断・表現 地理的なものの見方や考え方を身に付けたうえで判断し、自分の言葉で表現することができる。

○資料活用の技能 主題図や各種統計、写真など、多種多様な図表を読み取ることができる。

○知識・理解 地理的なものの見方や考え方を活用し、地理的事項を理解している。

③ 担当者から

○私立大学の過去問や大学入学共通テストの問題などに触れながら、実践的な力を高めていきます。

○これまで学んだ学習内容を振り返るとともに、自分の弱点分野を補強しながら演習を進めていきます。

○地理学の本質に迫る事項を学ぶとともに、世界史や政治・経済分野との関連も学んでいきます。

○世の中の出来事、さまざまな社会問題にも関心を持ち、情報収集を行いましょう。最近のニュースに目を向けることはとても大切なことです。

※ 前期反省

--

※ 年間反省

--

※ 次年度に向けて

--

④ 学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む）

月	単元名	教科書項目等	・主な学習活動(指導内容) ◎評価のポイント ○留意点	授業予定 時数	授業 実施 時数
10	系統 地理	自然環境	・問題演習(私大の入試問題や共通テストの過去問)や図表の読み取りを行いながら、主に基本的事項の確認を行う。 ◎それぞれの分野を横断的に学習しながら、各分野が関連していることに気づくことができる。	(後期中間) 28	
11		産業 生活・文化			
12	地誌	アジア	・系統地理で学んだことを、地域ごとに確認する。 ・問題演習を行いながら、主に基本的事項の確認を行う。 ◎地理的事項について、学んできたことを総合的に理解している。 ◎異なる地域で起きている事象でも、関連性や共通性があることに気づくことができる。また、それを踏まえて地理的考察ができる。	(年度末) 21	
1		アフリカ ヨーロッパ・ロシア アメリカ オセアニア			
2					
3					